

平成27年度 葛飾区立新宿中学校 自己評価結果（中間）

学校教育目標	自己の発展のため常に努力し社会と共に生きていく心豊かな人間を育てる。 (1) 自分を大切に (2) 人を大切に (3) 物を大切に	【指導理念】 ① 校訓 「時を守り、場を清め、礼を正す」 ② 基本 「平凡を非凡に」「個性伸長」「リーダー育成」「グローバル人材の育成」 ③ 重点 「あいさつ」「授業規律」「三重大事」「部活動」「歌声」
めざす学校像	生徒・教職員がいつまでも誇りにできる、地域の核となる信頼される学校	【教育課程】 指導要領を踏まえた指導 【教育組織】 チーム新宿中 【学校保健】 健康教育 自ら健康を守る【学校事務】 予算適正執行・年度内作成
めざす生徒像	あいさつがしっかりできる、健康な体、健全な心、学び意欲を持つ生徒 自信と誇りにあふれる生徒	【学校給食】 残菜O アレルギー対策 【特別支援教育】 自立を促す教育の推進 【人材育成】 次代を担う人材育成 OJT活用 研究推進
めざす教員像	使命感と教育愛のあふれ、日々研修するプロ教員集団 新宿中への自信と誇りを持つ教員	【施設設備】 美しい学校 環境づくり 教室掲示充実 【家庭地域】 学校地域応援団 地域と連携した宿泊訓練

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準（学校全体として）		取組（努力）指標		成果指標		分析コメント	改善策
				取組（努力）指標（指導者として）	成果指標（生徒の変容）	中間	最終	中間	最終		
確かな学力	基礎・基本を大切に、確かな学力の定着を図る。	アクティブ・ラーニングを効果的に導入し、授業改善を図りわかる授業を目指す。	葛飾授業スタンダード完全実施と共に、生徒の実態に合った教材教具やICT教材活用を工夫し、言語活動や体験活動を取り入れ、改善状況を確認してわかる授業を実践する。	4 大半の教科が達成できた。 3 6割以上の教科が達成できた。 2 達成度がもう少しであった。 1 達成度が不十分だった。	4 大半がわかる授業の満足度を得た。 3 わかる授業の満足度を得た。 2 わかる授業の満足度がもう少しだった。 1 わかる授業の満足度を得られなかった。	3.2	3.1	・授業スタンダードの取組で書がかわってきているように感じる。 ・講義型であっても演習作業を入れる等一方的な展開は減っている。 ・ALを意識して授業を組み立てている。 ・ICT機器活用が少しずつされている。	・わかる授業を通して、生徒の知りたい意欲が増せば学力も上がると思う。 ・ALとは様々な形態であることを研修を通して理解してもらい、実践に移す。 ・活動させればよい、話し合わせればよいではなく、授業内容の充実をめざす。 ・ICT機器の簡易的な導入（授業においての使いやすさ、ソフト活用）		
		授業規律の確立を図る。	チャイムと共に授業を始める。（生徒はチャイム着席・授業準備完了）	4 大半の教科が達成できた。 3 6割以上の教科が達成できた。 2 達成度がもう少しであった。 1 達成度が不十分だった。	4 大半の教科で達成できた。 3 6割以上の教科が達成できた。 2 もう少しだった。 1 できていなかった。	3.6	3.5	・教員はチャイムに聞こえているが生徒の意識は低い。 ・教員によって生徒の態度が変わる。 ・チャイム音響が昨年よりあたり前となったと思う。 ・予鈴の音響など書き置き。教員のだらけを感じる。	・教員が連携して呼びかけを行い、生活委員や班長を使って呼びかけをさせる。 ・他の教員が発表たり等し、教員全体で子どもを見ていく。 ・チャイム音響あたりまえ、教材を机の上に、徹底する。 ・プロとしての意識の醸成。		
		学習意欲の向上を図り自ら学ぶ力を育てる。	葛飾学び方スタンダードの徹底と共に、生徒の能動的な学習を通して学ぶ意欲を高める。	4 大半の学級で十分取り組めた。 3 6割以上の学級で十分取り組めた。 2 達成度がもう少しであった。 1 達成度が不十分だった。	4 大半、取り組めた。 3 6割以上で取り組めた。 2 取り組みがもう少しだった。 1 取り組みが不十分だった。	3.4	3.3	・生徒の学ぶ意欲を高められた。 ・講師にも学び方スタンダードにそった指導をしてもらいたい。 ・生徒同士の意見交換や考える時間を取っているのが良い。 ・学び方スタンダードの定着はあまりしていない気がします。	・このまま継続する。 ・講師の先生にも理解してもらおう。 ・さらに工夫する。 ・授業スタンダードと同様に、生徒への周知を掲示等で試してみても良い。		
		家庭学習の充実を図り自ら学ぶ力を育てる。	学習計画を立てさせ、具体的な方法を明示し、家庭学習が毎日1時間以上の習慣化を図る。	4 大半の学級で達成できた。 3 6割以上の学級で達成できた。 2 達成度がもう少しであった。 1 達成度が不十分だった。	4 ほぼ毎日1時間以上できた。 3 6割以上毎日1時間以上できた。 2 1時間以上の日が少なかった。 1 毎日1時間以上できなかった。	3.1	2.9	・宿題の徹底がまだ不十分と思われる。 ・教員は呼びかけているが、家庭の協力が必要。 ・定期考査の計画表を見る限り、差が大きい。 ・組織的に検討されていない。宿題は効果があるか疑問。	・宿題の確認をしっかりと行うようにしていく。 ・宿題をできるだけ出す。 ・意欲の低い生徒、家庭にも働きかけをする。 ・「具体的方策」にある通り毎日の学習計画を立てさせるなどの初期指導が大切。		
健康・体力	基礎的な体力の向上を図り、健やかな身体とたくましい心を育てる。	保健等の授業を通して基礎体力の向上、安全教育、健康教育を推進する。	教科等の特性や特別教育活動等を通して向上を図る。	4 大半の学級で達成できた。 3 6割以上の学級で達成できた。 2 達成度がもう少しであった。 1 達成度が不十分だった。	4 意識や体力が十分高まった。 3 意識や体力が高まった。 2 意識や体力が少しは高まった。 1 意識や体力の高まりは不十分だった。	3.7	3.5	・体育の授業および部活動等で行って取り組んでいる。 ・体力、運動能力の劣る7組生徒に毎日体力向上の取組をしている。 ・体育科及び体育的行事の成果である。 ・運動に対して苦手意識、体を大きく動かさない。（7組）	・今後続けていく。 ・学校全体としてもその意識は高いと思う。 ・移動教室などの目標に「体育的な面」をかけて意識を高める。 ・毎日の前トレトトレでできることとできないことを数理化・文化化し意識高め。		
		食育や安全教育、健康教育を推進する。	保健だよりや給食だよりの発行、また食育授業を通して各学級で具体的な指導を行う。残菜Oを指す指導を行う。	4 大半の学級で達成できた。 3 6割以上の学級で達成できた。 2 達成度がもう少しであった。 1 達成度が不十分だった。	4 意識が高まった。 3 意識が少しは高まった。 2 意識の高まりは不十分だった。	3.3	3.2	・残菜Oに対する指導がされていない学年がある。 ・残菜Oを全く行わない意識する教員がいる。 ・残菜Oを学年で実践できていない。 ・15分間でひたすら食べさせることに限界がある。	・担任の意識を養っていかないと子どもは変わらない。 ・プロとしての意識の醸成。 ・継続する。		
豊かな人間性	命を尊重し、互いに認め合える豊かな心を育てる。	基本的な生活習慣の定着の取り組みを通して挨拶ができる生徒を育成する。	挨拶運動や言語環境やコミュニケーション力を高め、思いやりなど社会性を豊かにする。新宿中いじめ防止基本方針の徹底。	4 大半の教諭も取り組みができた。 3 6割以上の教諭も取り組みができた。 2 達成度がもう少しであった。 1 達成度が不十分だった。	4 大半、達成できた。 3 達成できた。 2 達成度がもう少しであった。 1 達成度が不十分だった。	3.4	3.3	・いつでも、どこでも、だれにでも、何回でも日々推進している。 ・挨拶が全体的に小さくなり、しない生徒も増えていく。 ・モデルとしての教諭、指導係等教諭の姿勢が崩れてきている。 ・挨拶や言葉遣いに対して、教員の意識が低い。	・7組の生徒は相手を見ての挨拶が苦手である。そこを改善していきたい。 ・教員がしっかりと声掛けをしていく。 ・教師自身がモデルとなって、さわやかな挨拶をする。まず、こちらから。 ・「ある程度できていくから」という限界をこらえて決めずに変える。		
		人権教育の取り組みを通して推進する。	道徳教育の充実や7組との交流を通して人権に対する意識を高める。	4 大半の教諭も取り組みができた。 3 6割以上の教諭も取り組みができた。 2 達成度がもう少しであった。 1 達成度が不十分だった。	4 人権意識が高まった。 3 だいたい人権意識が高まった。 2 人権意識がもう少しであった。 1 人権意識が不十分だった。	3.5	3	・7組との交流をもち、教員や生徒の生活に取り入れられている。 ・7組と交流する機会をほとんどないと感じます。 ・道徳担当を中心に計画的に行われている。 ・7組生徒への配慮をする生徒が増えたように感じる。	・交流給養の充実など。 ・研修等の機会を通して7組の生徒の理解を促す必要がある。 ・人権については教員も引き続き意識していきたいことが大切、不用意な言葉に注意。 ・今後も指導する。		
		一人ひとりを大切に生徒指導をする。	二者及び三者面談を通して、生徒の内面に触れ、また家庭状況を把握し生徒理解を深める。	4 大半の教諭も取り組みができた。 3 6割以上の教諭も取り組みができた。 2 達成度がもう少しであった。 1 達成度が不十分だった。	4 先生とよく話している実感がある。 3 先生とよく話している。 2 先生との話はもう少しだった。 1 先生との話は不十分だった。	3.5	3	・一人ひとり、全員と同じには難しい。 ・話を聞いてもらっていないと考えている生徒は多いと思う。 ・生徒理解ができていれば、もう少し生徒は生き生き思うと思うが、教科の授業では扱って、それ以外の人権意識は低いと思う。	・できるだけ声をかけ、一人ひとりを指導できるように心がける。 ・生徒と関わる時間を多くしていく。 ・「～やれ」「～しよ」「～はダメ」が多すぎて一人一人がいていない。 ・人権の研修を増やしていく。		
（環境整備）	校内美化など情操教育や施設を整備する。	校内外清掃を通して推進する。	生徒の当番やボランティア美化活動を通して清潔感のある「いつもきれいな学校」を実現する。	4 大半の教諭も取り組みができた。 3 6割以上の教諭も取り組みができた。 2 達成度がもう少しであった。 1 達成度が不十分だった。	4 きれいな学校作りに十分貢献している。 3 きれいな学校作りに貢献している。 2 きれいな学校作りにも少しであった。 1 きれいな学校作りが不十分だった。	3.3	3.1	・ゴミが清掃後に集まり残っていることがある。 ・玄關の砂が時々多い。 ・学級によって差が残り、不適切な掲示もまだ見られる。 ・毎日々をつける。	・教員側の気づきが必要。細かく点検していけることよい。 ・部活（校庭）生徒の指導、校庭体育や身体みらぬ時の砂を落とす意識の徹底。 ・経営方針として掲げられたのだからモデルの見学などが必要。 ・今後も継続する。		
		校内の掲示物や教室掲示を整備し、キャパリー化や学習環境向上を推進する。	様々な生徒作品展示や教室掲示を通して自信を付けさせると共に、他人の作品を尊重する態度や学習意欲を育成する。	4 大半の教科・分掌・学年・学級でも十分達成できた。 3 6割以上の教科・分掌・学年・学級で達成できた。 2 達成度がもう少しであった。 1 達成度が不十分だった。	4 学習環境向上を十分実感している。 3 学習環境向上を実感している。 2 学習環境向上の実感はもう少しである。 1 学習環境向上の実感は不十分である。	3.2	3	・自分のクラスでは教室掲示が充実していない。 ・今年度から各学年で掲示物に工夫がみられる。 ・他の仕事を優先してしまい、掲示物で手が回っていない。 ・教科での進捗に課題がありました。	・他クラスや他校を参考に充実を図る。 ・今年1年を通して行えば浸透すると思う。 ・年間掲示プランを立てる。 ・文化祭に向けて取り組んでいきます。		
地域家庭との協働	地域に関わった学校づくりを推進する。	様々な発信の取り組みを通して信頼や連携を深める。（情報公開に努める）	学校・学年・分掌だより等の発行やホームページの更新を通してその達成を図る。	4 大半の項目が毎月実施できた。 3 6割の項目が毎月実施できた。 2 毎月実施がもう少しであった。 1 毎月実施はできなかった。	4 理解を深めることが十分できた。 3 理解を深めることができた。 2 理解を深めることが少なかった。 1 理解を深めることができなかった。	3.5	3.3	・様々な情報の発信に取り組みしている。 ・HPも定期的に更新され区の中でも最も情報が発信されている。 ・発信は十分だが、家庭からのフィードバックを取り入れられない。	・このままのペースで続ける。 ・ミラー学習のように授業とタイアップしていくと良いと思われる。 ・ほんの教団でも保護者の声を聞く機会（返遊など）を取り入れてはどうか。		
		地域と連携を深める。	地域行事への生徒参加を促すと共に、自らも地域行事に参加する。ボランティアパッチを活用する。	4 大半の項目が毎月実施できた。 3 2回以上取り組みができた。 2 一回以上取り組みができた。 1 一回もできなかった。	4 三回以上取り組みができた。 3 二回以上取り組みができた。 2 一回以上取り組みができた。 1 一回もできなかった。	2.6	2.5	・部活ごとにボランティアに参加したりしている。 ・地域行事へ参加する機会がなかった。 ・これから行事に参加する予定なのでまだできていません。 ・年2回は確実に行事に参加している。	・全員参加のボランティアが計画できれば意欲も高まると思う。 ・詳細な指導、基準を変更する。 ・生徒と共に行事に参加していきます。 ・続けていく。		

評価指標・評価基準の目安 4 目標達成（80%以上） 3 ある程度達成（60%以上） 2 もう少し（40%以上） 1 不十分（40%未満）